

## 四天王寺大畑山苑

四天王寺大畑山苑は「笑顔・安全・安心・誠実」をキーワードに事業を展開しました。これまでの介護の在り方を振り返り、『ご利用者主体』を重視したサービス提供を行いました。しかし、改善すべき部分や課題も多く残しており、大畑山苑の職員全員が真摯な姿勢で日々の職務に臨み、キーワードの実現を目指します。

### ～事業活動報告～

#### (1) 人財

今年度は有期契約職員で複数の退職があり、採用活動を積極的に行いました。またDo-CAP面談では新採用職員へは宣言や職員心得を基本に指導を行うことで、成長に繋げる事ができており、今後も人財育成のための適切な指導を行っていきます。技能実習生の受入れは次年度に延期となりましたが、準備を進めます。

#### (2) 地域貢献

コロナ禍において感染症対策を講じつつ、可能な限り実習生の受入れを行いました。行事を通じた地域交流は叶いませんでしたが、施設内では小規模で行事を開催しました。ご家族面会にも制限が必要な中で柔軟にご利用者の様子を伝えることで、安心していただけるように努めると共に、地域への情報発信も施設ブログを通して行いました。

#### (3) サービスの質の向上

施設内法定研修の在り方を見直し、年間計画に基づいた実施と研修内容の共有を行いました。研修への参加人数は確保出来たものの参加者や職種に偏りがみられたため、次年度は職種を問わず、多くの職員が参加出来るよう調整を行っていきます。また施設外研修でも職員個々が技能・知識のスキルアップを目指し、参集型・オンラインを使い分けて参加しました。

#### (4) 運営・財務管理

年間平均稼働率が入所本体が91.3%、短期入所生活介護が92.8%と目標を下回る結果となりました。要因としては介護職員の減員だけではなく、一人ひとりの介護力(対応力)が入院率の低下に繋がることを念頭に、研修や面談を通して『大畑山苑での介護のあり方』の見直していきます。また、年度末にはコロナの集団感染に伴う稼働率の低下を招いたため、感染症防止に向けた施設内外の研修の実施・参加、BCP作成にも積極的に取り組んでいきます。

### ～改善活動～

#### (1) リスクマネジメント

令和2年度と比較して骨折事故は6件から4件に減少しましたが、同じご利用者の同内容の事故が再発傾向にあり、事故の分析と対策の周知・実施において課題を残す結果となりました。今年度はリスクマネジメント委員会を中心に対策の検討と事故予防の啓発に努めていきます。

#### (2) 職場環境の改善

有休の5日平均取得率は令和2年度の58%から令和3年度は66%に上昇し、概ね希望通りの取得ができました。時間外勤務については、年度末のコロナ対応に伴う時間外勤務が増え、昨年度を総時間で83時間上回る結果となりました。時間外勤務の管理方法を見直し、必要な時間外とそうでないものをより明確にするためにこれまでの職員の意識を徐々に変えていく取組みを行っています。令和4年度も継続して取組み、時間外勤務の減少に努めます。